

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	琉球大学大学院 博士前期課程 保健学専攻						
教育プログラム・コース名	ライフステージに応じたがん対策を推進する人材の養成・がん看護専門看護師養成コース						
対象者	保健学研究科 博士前期課程 大学院生						
修業年限（期間）	2年						
養成すべき人材像	がん医療に精通した医療人材が不足している島嶼沖縄県において、ライフステージに応じたがん対策を推進することができる専門看護師の養成を目指す。とくにAYA世代、小児、壮年、高齢者など幅広い世代に対して、多職種のコーディネートを担える専門看護師の育成を目指す。						
修了要件・履修方法	大学院博士前期課程に2年以上在学し、共通科目8単位、専攻教育課程科目18単位、共通必修科目4単位、必修科目8単位、計38単位以上を習得する。修士論文の審査、及び最終試験に合格する。						
履修科目等	<共通科目> 看護管理学特論（2単位）、看護理論特論（2単位）、他4単位 <専攻教育課程科目> がん治療学特論（2単位）、がん看護援助特論（2単位）、他14単位 <共通必修科目>保健学特論（2単位）、保健学研究方法（2単位） <必修科目> 特別研究（8単位）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄シミュレーション研修センターを活用し、多職種（医師、薬剤師、放射線技師、ケースワーカーなど）連携教育により、離島含む沖縄県内のがん患者・家族の問題解決のための高度な実践教育を行う。</li> <li>・ 遠隔テレビ授業システム活用をした大学間連携による双方向の講義を導入し、がん医療の現状、問題点、連携のあり方等について情報を共有しながら授業を行う。</li> <li>・ 地域で療養するがん患者の患者会やがんサロン等の運営に参画し、相談支援（療養支援、就労支援、遺伝カウンセリング等）の役割機能を習得する。</li> </ul>						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学の教員のみならず、隣接する大学附属病院（がん診療連携拠点病院）の医師、薬剤師、放射線技師等やがんプロ修了生のがん看護専門看護師、また在宅緩和ケアに従事する医師、看護師（訪問看護認定看護師、緩和ケア認定看護師等）を活用した多職種による教育を導入する。</li> </ul>						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	コース修了生に対しては、がん看護専門看護師の資格取得試験に向けてのスーパーバイズを行い、専門資格取得後は、県内のがん診療連携拠点病院や在宅ケアにおける役割拡大が発揮できるような継続教育支援を行う。また、県看護協会との連携により、病院看護師や訪問看護師を対象としたがん看護教育やコンサルテーション等に貢献できるよう支援する。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	看護師	0	1	1	1	1	4
							0
							0
							0
	計	0	1	1	1	1	4